

しいく 飼育コウノトリが死亡しました

保護増殖センターで飼育していた J404（平成17年3月24日、新潟県より郷公園に譲渡、メス）が、9月30日に死亡しました。前日に左翼の骨折が確認されており、死亡原因は事故死と推測されます。

県立コウノトリの郷公園開園10周年記念事業等についてのお知らせ

当公園は平成11年11月1日に開園し、今年で10周年を迎えます。これを記念し、以下の記念事業を実施します。

1 記念放鳥の実施（段階的放鳥）

豊岡市但東町唐川でのコウノトリの定着をめざし、7月から唐川放鳥拠点で飼育してきた2羽を地元住民の方々等が見守る中、段階的放鳥します。

- ◆日 時：平成21年10月31日（土）10：00～10：40
- ◆会 場：豊岡市但東町唐川 唐川放鳥拠点

2 県立コウノトリの郷公園開園10周年記念式典・記念シンポジウムの開催

開園10周年を迎え、コウノトリの保護増殖・野生復帰が進む中、これまでの当公園運営へのご協力・ご支援に感謝の意を表しますとともに、これからの目指すべき姿を広くアピールするため開園記念式典を開催します。また、「人と自然の共生できる地域づくり」をテーマに、シンポジウムを開催します。

- ◆日 時：平成21年10月31日（土）13：00～16：30（受付12：00～）
- ◆会 場：豊岡市民会館 文化ホール
- ◆内 容：①記念式典（13：00～13：25）
②記念シンポジウム（13：30～16：30）
- ◆申し込み：当公園ホームページよりチラシをダウンロードし、チラシ裏面の参加申込書に必要事項をご記入の上、県立コウノトリの郷公園までファックスまたはEメールでお申し込みください。

特別公開のお知らせ

当公園が開園したこの日に合わせ、日頃非公開としている「コウノトリ野生化ゾーン」を公開します。

- ◆日 程：平成21年11月1日（日）～11月3日（火）10：00～15：00
*ただし、開園時間については平常どおり9：00～17：00です。
（11月2日（月）は通常休園日となりますが、開催期間中は開園します。また豊岡市立コウノトリ文化館も開館します。）

★11月1日（日）14：45より豊岡市立コウノトリ文化館 多目的ホールにおいて、
♪サロンコンサート「伝えたい想い—コウノトリとともに—」を行います。
皆様お誘いあわせの上、是非おこしください。

コウノトリ・サイエンスカフェ（鶴見カフェ）のお知らせ

平成21年10月18日（日）16：00～17：30に、サンストークアベニュー内なごみ茶屋（豊岡市中央町3-37）で行います。ご参加ください。

コウノトリの羽数 (H21.9.30 現在)

1 飼育コウノトリの羽数

	オス	メス	計
県立コウノトリの郷公園	31	35	66
附属飼育施設コウノトリ保護増殖センター	16	15	31
唐川放鳥拠点(方法3:H21.7.11着手)	1	1	2
山本放鳥拠点(方法2:H21.9.27着手)	1	1	2
計	49	52	101

*唐川・山本放鳥拠点にいる個体は、飼育コウノトリとして数えます。

2 野外にいるコウノトリの羽数

	オス	メス	不明	計
放鳥コウノトリ	8	11		19
昨年までに野外繁殖により増えたコウノトリ	1	5	1	7
今年の野外繁殖により増えたコウノトリ	2*	5	2	9
計	11	21	3	35

*8/15に一時収容した伊豆地区人工巣塔から巣立った幼鳥(オス)を含みます。

放鳥の方法

方法1
適切な場所から、複数の個体を一斉に放鳥します

唐川放鳥拠点
H21.7.11 着手

方法2
飛べない状態にしたペアを放鳥拠点で飼育・繁殖させ、巣立った幼鳥を自由にさせます

山本放鳥拠点
H21.9.27 着手

方法3
オスとメスを放鳥拠点で飼育し、拠点を認めたところに自由にさせます

唐川放鳥拠点
H21.7.11 着手

方法4
飛べない状態にした複数のメスを放鳥拠点で飼育し、飛翔可能な複数のオスを付近に放鳥し、繁殖させます

唐川放鳥拠点
H21.7.11 着手

問い合わせ先
兵庫県立コウノトリの郷公園
〒668-0814 豊岡市祥雲寺字ニヶ谷128番地
TEL：0796-23-5666
FAX：0796-23-6538

E-mail：kounotori@stork.u-hyogo.ac.jp
URL：http://www.stork.u-hyogo.ac.jp
開園時間：9：00～17：00
休園日：毎週月曜日（休日に当たるときはその翌日）・12月28日～1月4日

いきもの通信

No.146

兵庫県立コウノトリの郷公園
Hyogo Prefectural Homeland for the Oriental White Stork
平成21（2009）年 9月30日編集
平成21（2009）年10月10日発行

昨年巣立ちした幼鳥2羽 オス親の特定

昨年の野外繁殖において、コウノトリたちには今までにない行動や出来事がありました。そのことについて、今回以下の2つのことが明らかになりました。（当公園と国立科学博物館との共同研究によるものです。）

J0006（メス、平成20年6月22日に福田地区人工巣塔より巣立ち）のオス親

J0006はJ0389（2004年生れ、オス）とJ0384（2004年生れ、メス）が育雛していました。しかし、このたびJ0006の遺伝的オス親がJ0391（2004年生れ、オス）であることがDNAを調べて（注1）特定できました。

当時の観察記録によると、J0384はJ0389と福田地区で定着する前にJ0391と交尾行動があったことが観察されていました。また、そのJ0389とJ0391が兄弟であるために今回の特定は難しいとされていましたが、数ヶ月にも及ぶ研究の末、特定することが出来ました。

J0006の繁殖は、つがい外交尾によって育雛した親と遺伝的な親が一致しないという、コウノトリにおいて初めての事例となりました。

J0010（メス、平成20年7月3日に保護増殖センター第4ケージ屋根の上より巣立ち）のオス親

この場所から巣立ったJ0010の遺伝的オス親がJ0001（2006年生れ、オス）であることがDNAを調べて（注1）特定できました。

当時の観察記録によると、メス親J0362（2003年生れ、メス）は兄にあたるJ0290（2000年生れ、オス）との交尾行動が観察されていました。その後、兄妹婚をさけるためにJ0290を飼育下に収容しました。その後に、J0362はJ0001と繁殖行動を取り、産んだ卵が孵化しました。この時J0001が満2歳に達しておらず未成熟のため、無精卵ではないかと予測されていました。そこで、このヒナのオス親がどちらなのかを検査していました。

この結果により、満2歳に達しないコウノトリでも繁殖可能であることが明らかになりました。

注1：検査方法＝DNAシーケンサーを用いてマイクロサテライト遺伝子座の解析

ペアのコウノトリ 山本放鳥拠点へ

9月27日、豊岡市日高町山本地区の放鳥拠点に、2羽の飼育コウノトリ（Lペア）J066（1989年生れ、オス）とJ054（1988年生れ、メス）を移動し、段階的放鳥に着手しました（写真1）。

この拠点では、平成19年9月に段階的放鳥（方法3）をしましたが、拠点付近に定着しませんでした。今回は、子育て経験の豊富なベテランのLペアが仮親となって別の方法（方法2）で行います。来年ヒナを巣立たせ、定着することを目指します。

このLペアは、野外において平成18年7月に祥雲寺放鳥拠点で2羽、平成20年7月に三木放鳥拠点で2羽のヒナを巣立たせました。



写真1 拠点に入ったLペア

*方法2・3については、最終ページの「コウノトリの羽数」の放鳥の方法欄をご覧ください。